



YMNだより

令和4年11月19日 第80号
発行 やまがたメイカーズネットワーク
(略称: YMN代表 大津 清)
那須電機株式会社内 YMN 事務局

ふるさと創造基金地域貢献大賞を受賞

先般、令和4年6月2日(木)に、主会場(荘内銀行本店(鶴岡市)会議室)中継会場(荘内銀行山形ビル(山形市)会議室)において、2022年度公益荘内銀行ふるさと創造基金贈呈式が開催されました。

その中で、YMNが2022年度ふるさと創造基金地域貢献大賞を受賞しました。誠に光栄で大きな喜びであり、今後の励みになります。これまで、皆様からご支援ご協力をいただいた賜物と存じます。

<https://www.shonai.co.jp/aboutus/csr/kouekikenshou.html>



また、2022年度公益庄内銀行ふるさと創造基金地域貢献大賞のYMN団体紹介について、掲載文の複写許可をいただきましたので掲載します。

掲載 Web : <https://www.shonai.co.jp/aboutus/csr/kouekike>

(SHOGIN New Release 2022年4月26日版)

さらに、下記の新聞に掲載されました。

「荘内銀ふるさと創造基金を助成先に贈呈 鶴岡、地域貢献大賞授与も」

山形新聞 令和4年6月3日(金)付

今後ともご支援、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

やまがたメイカーズネットワーク (天童市)

県内教育機関に県産の部品を活用し製作した3Dプリンターを寄贈するプロジェクトを展開し、学校など86教育施設に107台寄贈。寄贈数が100台に達したことを機に、重点を活用面に移し、活用事例集の作成や活用アイデアコンテストの実施などに発展。

地域の子供たちを巻き込んで電動義手やフェイスシールドの製作にあたるなど社会貢献的な活動にも注力しています。



やまがたメイカーズネットワーク 様

ものづくりの次代を担う人材を育成するための教育活動を展開・支援する組織として2014年に設立。県内教育機関に県産の部品を活用し製作した3Dプリンターを寄贈するプロジェクトを展開し、これまでに学校など86教育施設に107台寄贈を行いました。

贈呈数が100台に達したことを機に、活動の重点を活用面に移し、活用事例集の作成や活用アイデアコンテストの実施などに発展。寄贈校では3Dプリンターを活用した独自の取り組みや学校同士の連携が生まれており、それらに対する支援も積極的に行っています。

また、技術を生かしたロボット教室やプログラミング教室を実施しているほか、地域の子どもたちを巻き込みながら電動義手やフェイスシールドの製作にあたるなど社会貢献的な活動にも注力。

地域への波及効果が高く、未来を担う優れた人材の育成に大きく貢献しています。